

参考資料

数字で見る文化芸術活動

「文化に関する世論調査（令和2年度・令和3年度）」

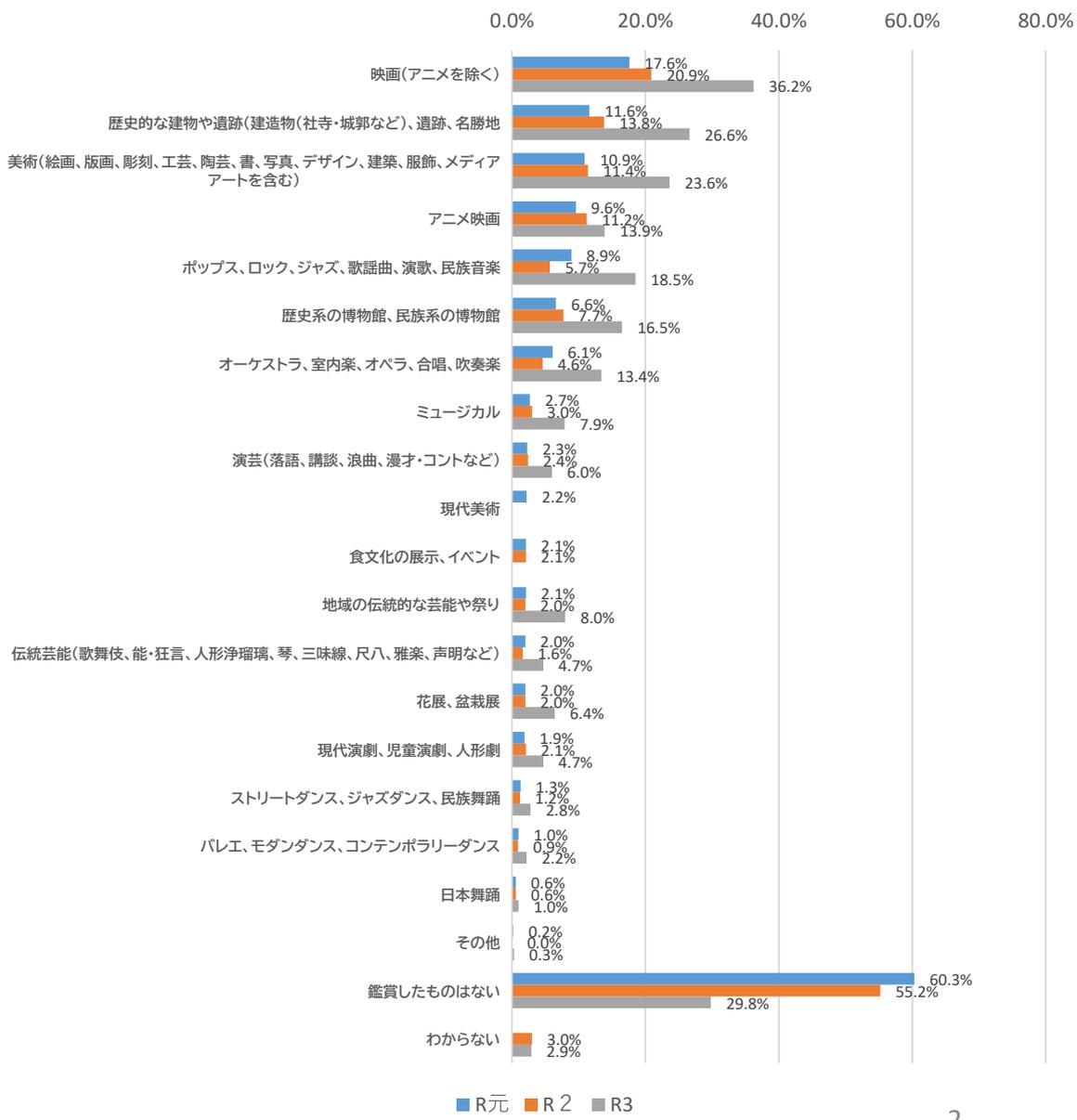
文化に関する世論調査について

- **文化庁**が調査会社へ委託して実施
- 調査目的は、**文化に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とするため**
- 全国18歳以上の日本国籍を有する者を母集団とする
サンプル調査
- 性年齢別、都道府県別に回収数を設定し回収

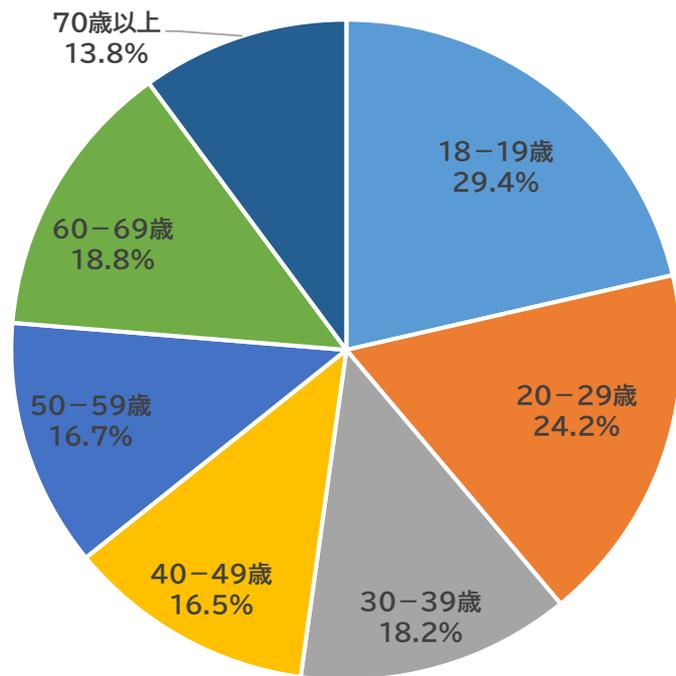
○この1年間に文化芸術イベントを直接鑑賞したことがあるか？

直接鑑賞したことがあると回答した人（「鑑賞したものはない」と回答した人を除く）の割合は**39.7%**とコロナ前（**67.3%**）と比較して低い状況。

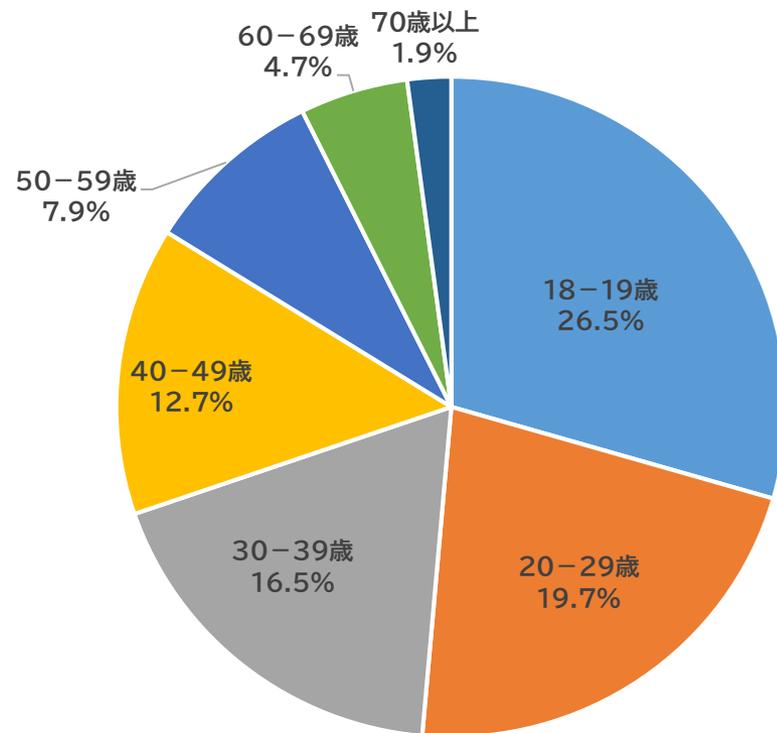
ジャンルとしては「映画（アニメを除く）」（**17.6%**）、「歴史的な建物や遺構」（**11.6%**）、「美術」（**10.9%**）が上位に並ぶ



映画（アニメ除く）年齢別割合



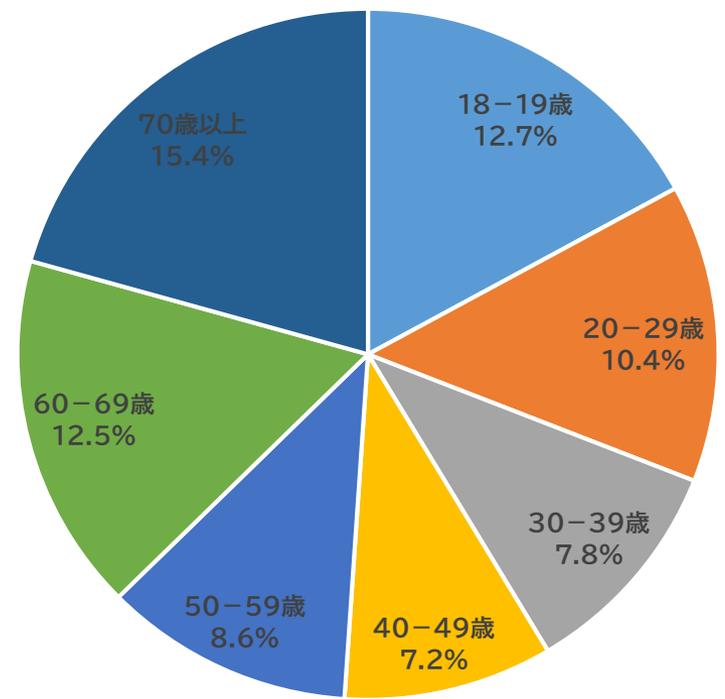
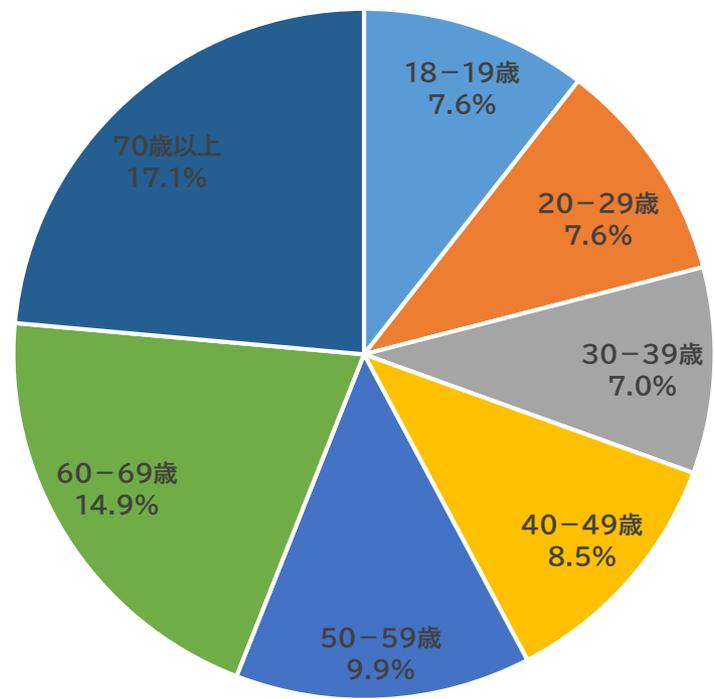
アニメ映画 年齢別割合



直接鑑賞した文化芸術ジャンルのうち、映画、アニメ映画では18-19歳、20-29歳の割合が高い。

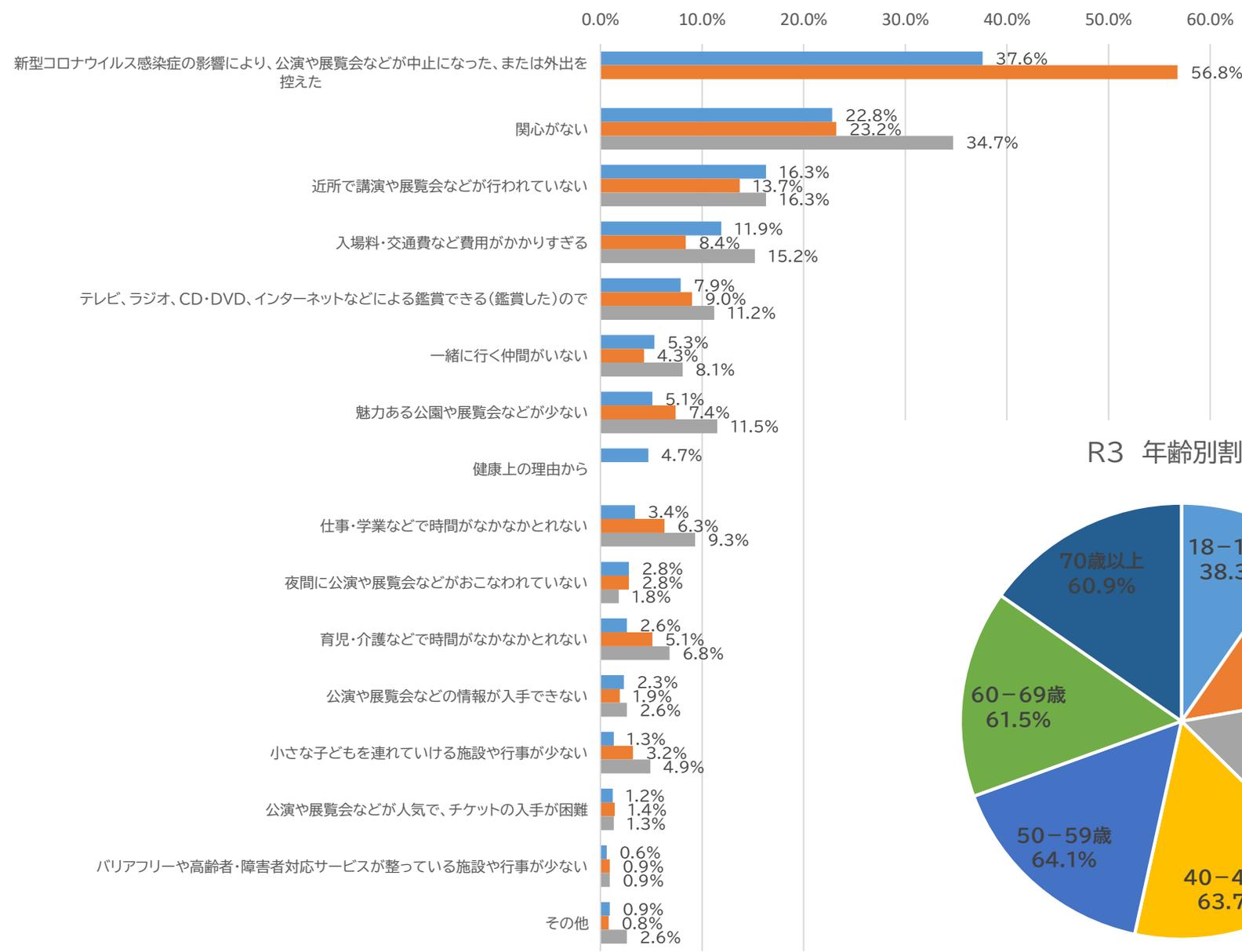
歴史的な建物や遺跡等

美術

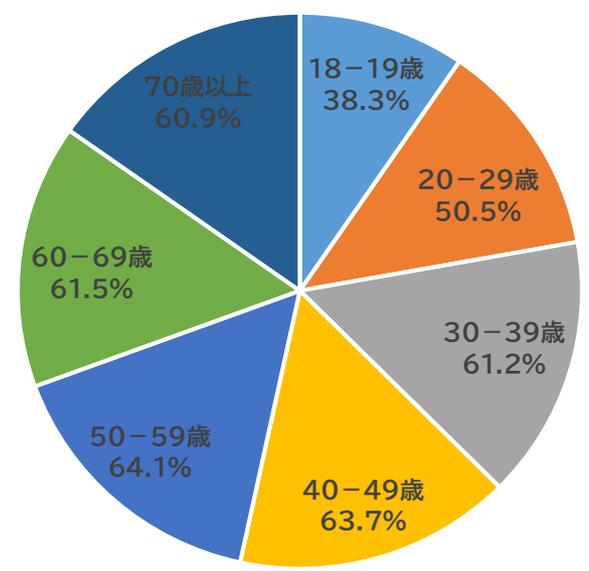


直接鑑賞した文化芸術ジャンルのうち、「歴史的な建物遺跡等」「美術」では60-69歳、70歳以上の割が高い。

直接鑑賞した文化芸術ジャンル ～鑑賞しなかった理由～



R3 年齢別割合



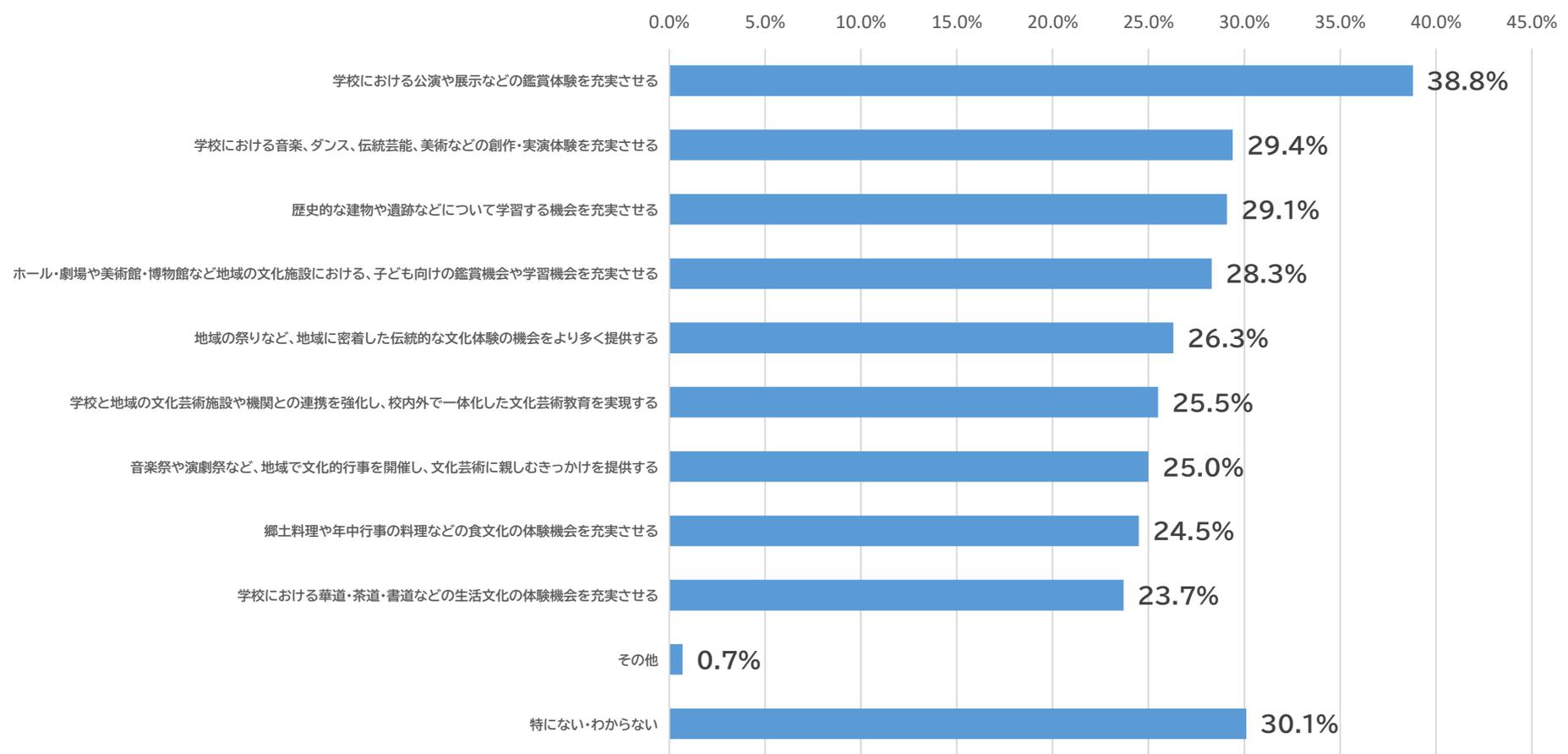
■R3 ■R2 ■R元

大人が考える、子どもの文化芸術体験において重要なこと

○子どもの文化芸術体験について何が重要か？

「学校における公演や展示などの鑑賞体験を充実させること」が38.8%と最も高く、ついで「学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を充実させる」（29.4%）、「歴史的な建物や遺構などについて学習する機会を充実させる」（29.1%）と続く。

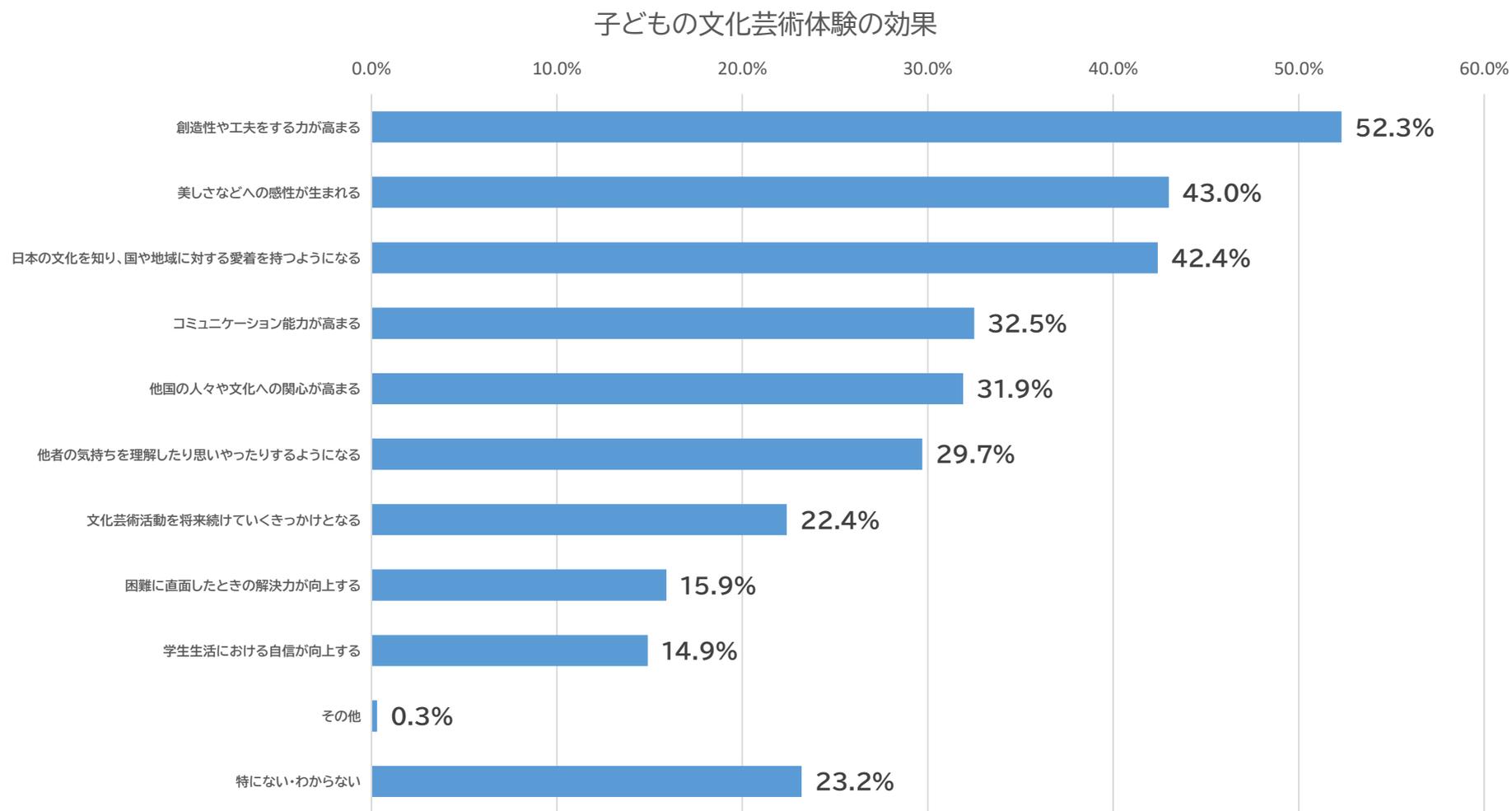
子どもの文化芸術体験で重要なこと



大人が期待する、子どもの文化芸術体験の効果

○子どもの文化芸術体験について期待する効果は？

「創造性や工夫する力が高まる」が52.3%と最も高く、ついで「美しさなどへの感性が生まれる」（43.0%）、「日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる」（42.4%）となっており、文化芸術体験への期待は高い。

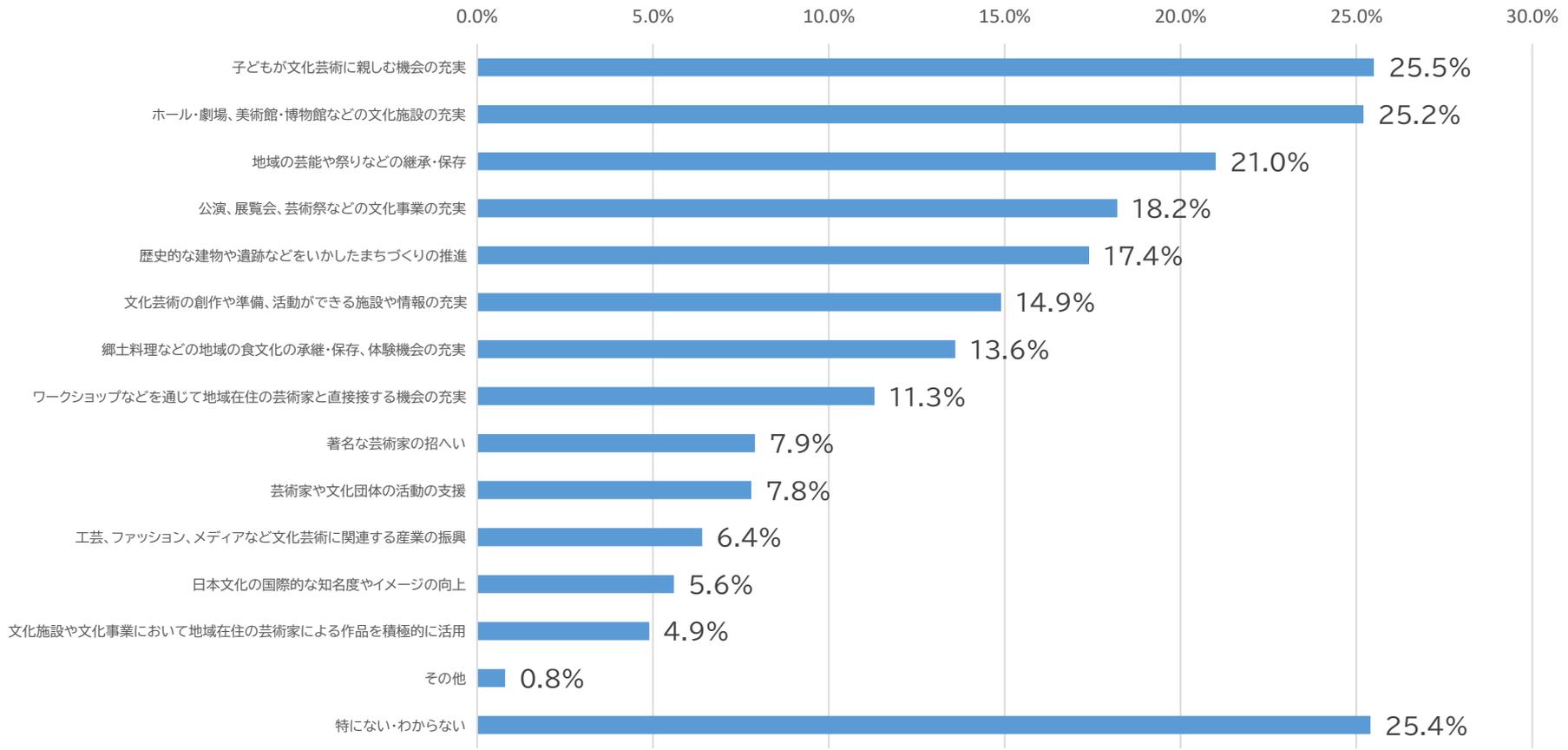


地域の文化的環境の充実策

○住んでいる地域の文化的な環境を充実させるために何が必要か？

「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」(25.5%)、「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」(25.2%)が高く、次いで「地域の芸能や祭りなどの承継・保存」(21.0%)となっている。

地域の文化的環境の充実策

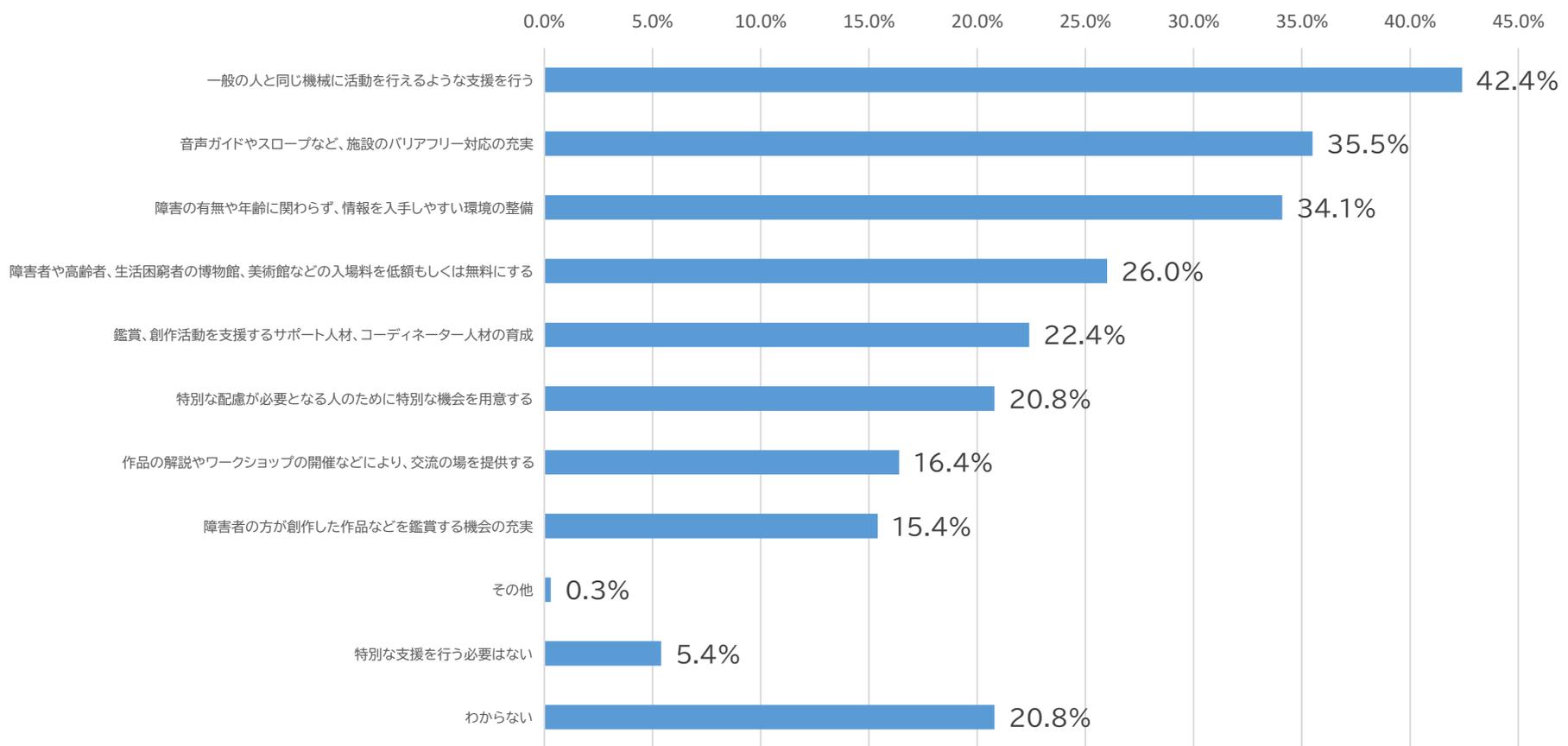


文化芸術活動を通じた共生社会づくりに必要な取組

○文化芸術活動を通じて、社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこうという考え方を実現するためにはどのような取組が必要か？

「一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援を行う」が42.4%と最も高く、ついで「音声ガイドやスロープなど、施設のバリアフリー対策の充実」(35.5%)、「障害の有無や年齢に関わらず、情報を入手しやすい環境の整備」(34.1%)となった。

文化芸術活動を通じた共生社会づくりに必要な取組



○日本の文化芸術の振興を図ることにより社会にもたらされる効果として期待することは？
「地域社会・経済の活性化」との回答が49.5%と最も高く、ついで「子どもの心豊かな成長」(36.4%)、「人々が生きる楽しみを見出せる」(34.8%)が挙げられている。

文化芸術振興による社会効果

